

ガルーダ・インドネシア航空
機材追加導入により平均機体年齢が 5.7 年に
TYOGA-9-FEBRUARY/12

2012年2月3日、ガルーダ・インドネシア航空会社(本社:ジャカルタ、インドネシア 最高経営責任者:エミルシャ・サタル)の臨時株主総会が開催され、機材の追加導入が議決されました。

- 2016年までに追加導入することが決まった機材及び機体数:
 - ・ ボーイング B737-800NG 型機材:10機から20機に追加
 - ・ ボーイング B777-300ER 型機材:10機追加
 - ・ エアバス A330-200 もしくはエアバス型他機材:6機から24機に追加
 - ・ シティリンク用の狭胴型航空機材:5機から25機に追加
 - ・ Sub-100 型機材:5機から18機に追加

ガルーダ・インドネシア航空では、「クオンタムリープ戦略」において 2015 年末までの保有機体数の目標値を 154 機としていましたが、今回の追加により 196 機となります。

- 2015 年末までに導入予定の機材及び機体数:
 - ・ エアバス A330 型機材:24 機
 - ・ ボーイング B777 型機材:9 機
 - ・ ボーイング B737-800NG 型機材:85 機
 - ・ シティリンク用 A320 型機材:50 機
 - ・ Sub-100 型機材:25 機
 - ・ 貨物機材:3 機

今回の機材追加導入の決定により、ガルーダ・インドネシア航空の平均機体年齢は 2012 年末までに 5.7 年となる予定です。これはアジア地域の平均機体年齢の 14 年と比較しても、著しく若い機体年齢となります。



PRESS RELEASE

ガルーダ・インドネシア航空 プレスリリース

地域別の平均機体年齢

地域	平均機体年齢
アフリカ	22 年
ラテンアメリカ/カリビアン	20 年
北米	17 年
ヨーロッパ	17 年
中東	16 年
オーストラリア地域	16 年
アジア	14 年

出典: Centre for Asia Pacific Aviation & Ascend Based on Jan-2011 data

尚、ガルーダ・インドネシア航空会社 日本支社は、日本路線における 2011 年度の定時運航率を以下の通り発表しました。

デンパサール	-	成田	-	デンパサール	:	93.62%
ジャカルタ	-	成田	-	ジャカルタ	:	96.12%
デンパサール	-	関西	-	デンパサール	:	94.88%
デンパサール	-	名古屋	-	デンパサール	:	92.91

ガルーダ・インドネシア航空会社は、1949 年に初の商業運航を開始し、1962 年に日本に就航しました。現在、世界 18 ヶ国 25 都市（共同運航便含む）、インドネシア国内主要 32 都市を結んでいます。今年は日本就航 50 周年にあたり、4 月 28 日（※）には、「東京（羽田）ーデンパサール（バリ島）線」の就航を予定しています。（政府認可申請中）

※デンパサール（バリ島）発は 4 月 27 日

<本リリースに関する問い合わせ>

ガルーダ・インドネシア航空会社 マーケティング部 児玉・篠

【E-Mail】 tyock@garuda-indonesia.co.jp

<報道関係者からのお問い合わせ先>

ガルーダ・インドネシア航空 PR 事務局 高島・與芝（株式会社プラチナム内）

【E-Mail】 garuda@vectorinc.co.jp 【電話】 03-5572-6073

